

平成 18 年 11 月 8 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 37 回）のご案内

会長 三浦哲彦

日 時：平成 18 年 11 月 29 日（水） 14 時～16 時

場 所：建設業協会佐賀、2 階会議室

佐賀市兵庫南 2-13-15 電話 0952-24-2711

話 題：『東名縄文遺跡保存のための地盤処理に関する現地試験

～地盤環境への影響に関する検討』

講演者：松山 泰治 氏 （応用地質株式会社 九州支社 技術部）

巨勢川（こせがわ）調整池は容量 220 万 m³の洪水調節のための施設であり、佐賀導水事業の一環として平成 20 年度の完成を目指して工事が進められています。平成 15 年 5 月、調整池内において西日本最大級の縄文時代早期の貝塚群が発見され、一部は現地保存されることになりました。

保存のために、①大気による酸素の影響の遮断、②溶存酸素や地下水の抑制、③土壌の乾湿繰り返し抑制、という 3 つの方針が委員会で承認され、現地試験が行われることになりました。

対策方法は、掘削によって酸化が進行した遺跡周辺の土壌環境をできるだけ掘削前の状態に戻すことを目標にしてキャッピング（覆土）することが承認されました。キャッピングは、還元状態の粘性土、現地発生土を用いたセメント改良土、盛土、などを用いて遺跡を覆うという方法です。

この方法でキャッピングした場合に、外気、雨水、地下水、などによりもたらされる酸素供給、あるいは乾湿繰り返しの作用をどの程度まで遮断できるのか、効果確認のための現場試験が実施されました。

今回の報告は、地盤処理が地盤環境に与える影響を考える上で幾つかのヒントを与えてくれるものと期待しています。

※参加希望の方は必ず事前にメール、または FAX でご連絡ください。

当日の申し込みは出来るだけご遠慮下さい。

※参加費：当研究会の個人会員および特別会員は参加費無料。

それ以外の方は資料代（¥500）。

=====
研究会担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: jimukyoku@sunny.ocn.ne.jp

Tel:0952-41-8840/Fax:0952-41-8373

Address:〒840-0811 佐賀市大財 4 丁目 1 番 52 号

軟弱地盤研究会事務局

=====